



銀座通り商店街振興組合



キャッチフレーズ

コラボレーションと やきものを活かしたまちづくり

事業実施の背景

銀座通り商店街は深川神社の門前町として、かつては賑わいの拠点だったが、近年、大型店の郊外出店等により「犬や猫しか通らないさびれた商店街」になっていた。しかし平成 9 年に、瀬戸市での万博開催が決定したことを契機に、既存店の活性化や空き店舗対策の重要性を再認識し、若手や女性部が中心となって、地域資源である「せとのやきもの」に関連するお店の誘致に取り組み始めた。

また平成 12 年、市内にある大学の学生が商店街のイベントに参加したことを契機に、商店街と学生との連携による活性化事業の実施につながった。

事業の概要

商店街の若手組合員や女性部を中心に「やきもののみち・瀬戸」の商店街再生に向けた活力のある取り組みを行うとともに、商店街に入り込んで応援している学生との連携の他、積極的に NPO などを受け入れることにより、中心市街地の賑わい回復を目指し、各種事業を行っている。

コラボレーション

平成 14 年、空き店舗を活用し、学生主体で運営するカフェと雑貨の店「マイルポスト」を開店。(大学移転により平成 19 年 3 月閉店予定だが、新しい事業主体への継承を予定)

また、NPO と企業や行政とのパートナーシップの形成を促進することを目的とする NPO 法人が「窯のひろば」を設置し、フリーマーケットを実施するなど商店街外の外部資源を取り込んだ活動が積極的に実施されており、商店主のやる気を刺激している。



<マイルポスト>

やきものを活かしたまちづくり

商店街では、地場産業の「やきもの」を商店街から広く PR して盛り上げていくために、「せとのやきもの」にこだわったお店の誘致に力を入れており、また、商店街の各店の店頭でも「やきもの」を展示し販売している。

「かわらばん家」は印刷所であった建物を改装し、若手陶



<商店街ギャラリーかわらばん家>

瀬戸市

芸家の作品の展示即売やガラス工芸品を扱うギャラリー。陶芸家の作品で珈琲や抹茶が楽しめる喫茶も併設している。

「ギャラリー楓」は、瀬戸の赤津焼産地のPRを兼ねて、窯元のおかみさんたちが手を組み、空き店舗を利用して開店した赤津焼販売店。

「まちなか工房」は、若手陶芸家の作品の展示販売と気軽に陶芸体験の出来る陶芸教室で、湯飲み、茶碗、皿等好きな器に絵付けや、ろくろの体験ができる。また、会員制の本格的に指導を受ける上級者コースもある。



<まちなか工房の様子>



<店頭で やきもの販売>

事業の効果

- ・ 空き店舗の数が平成 18 年中に 2 軒埋まり、商店街の活性化に繋がっている。
- ・ 空き店舗への入店の問い合わせも多く今後の空き店舗対策に期待が高まっている。
- ・ 平成 18 年に「がんばる商店街 77 選」(中小企業庁)に選ばれ、観光客や視察に訪れる人が多くなり、商店街の賑わいになっている。

事業の課題

- ・ お店の商品構成や配置・業種変換等して売上げを伸ばす努力が必要。
- ・ 駅前に出来たパルティセとや瀬戸蔵と商店街を回遊出来るような取り組みが必要。

その他の取り組み

空き店舗対策

商店主たちが自らの手で出来る活性化策として、空き店舗を活用し、共同出資で開店運営している飲食店「銀座茶屋」。

一店逸品運動

こだわりの一店逸品づくり運動による既存店の活性化に取り組む。

銀座通り商店街振興組合

所在地：瀬戸市（名鉄瀬戸線尾張瀬戸駅東）

問合せ先：理事長 山内義則

電話（0561）82-4370

